

量子化学から生まれた電子式低温ガス化処理装置

エバークリーン システム (Ever clean system)

生ゴミ・食物残渣、廃プラスチック、ビニールシート、発砲スチロール
農水産廃棄物、可燃性ごみ、木材チップ他

焼却、炭化、乾燥から進化した完全分解消滅方式



エバークリーン K型 装置全景



エバークリーン P900 装置正面



エバークリーン P900 装置側面



販売・製造元 / 水質浄化事業
環境ソリューションズ株式会社

〒105-0012 東京都港区芝大門1-4-10 大蔵ビル5階

TEL(03)5948-4577 FAX(03)5948-4578

<http://www.kankyo-sol.co.jp> E-Mail : info@kankyo-sol.co.jp

機能別タイプ

- 化成品廃材低温ガス化処理 [エバークリーン P]
- 農水産生ゴミ低温ガス化処理 [エバークリーン K]
- 木質廃材チップ低温ガス化処理 [エバークリーン W]

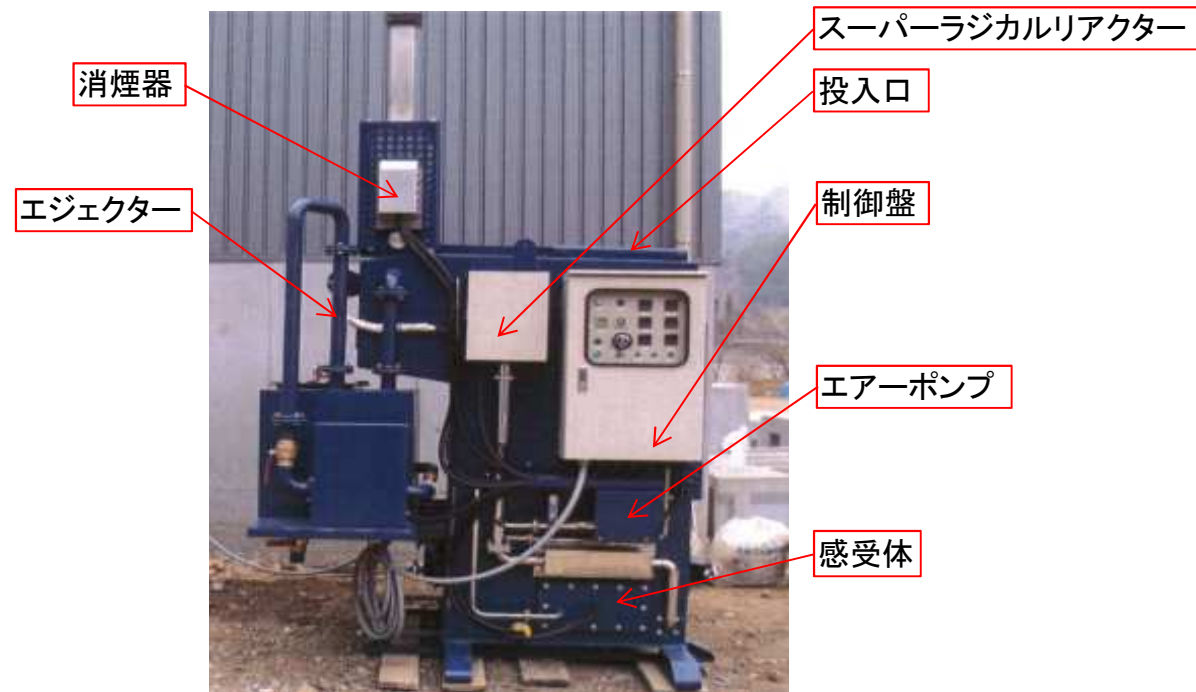


環境ソリューションズ株式会社

エバーグリーンシステムとは

エバーグリーンシステムはSRR法を応用した低温ガス化処理方法です。SRR(Super Radical Reactor)法とはエバーグリーン装置に搭載した電子加速器(イオンエンジン)により、生成されるスーパーオキシドアニオン($-O_2$)のラジカル反応によって様々な有機物を分解する技術です。有機化合物を低温域で分解反応を起こすことを特徴としており、その温度は $5^{\circ}\text{C}\sim 150^{\circ}\text{C}$ 以下にあります。分解される物質は、植物性、動物性、化学性、鉱物性のあらゆる有機物と有機化合物が対象です。分解反応により生成される物質は、炭水化物、低級脂肪酸、アルコール、エーテル、ケトン、脂肪酸、メタン等その中間生成物を経て最終的には炭酸ガスと水になります。

システムの概要 (エバーグリーン P900)



エバーグリーン装置の特徴

- ① 装置の稼働に必要な物は、電気(3相200V)と処理時に少量添加する分解促進剤のため、低コストで連続処理できます。
- ② 処理した対象物は、最終的に水と可燃性ガスに分解されるため、残渣などの廃棄物が発生しません。
- ③ コンパクトな装置のため設置に場所をとらず、メンテナンスも安価です。
- ④ 低温(200°C 以下)処理のため、ダイオキシン発生が無く、助燃料なども必要としません。
- ⑤ プラスチック類を 150°C 前後で処理した時発生する物質はメタン、エチレン、プロピレン等の可燃性ガスです。
- ⑥ 有機物の分解は含水状態、可溶性状態、懸濁状態でも可能です。

工場廃棄物の処理に活躍



食品廃棄物の処理に活躍

